

G7ネイチャーポジティブ経済アライアンス

- 2021年G7首脳コミュニケの附属文書「G7 2030年自然協約（Nature Compact）」において、「2030年までに生物多様性の損失を止めて反転させる」という世界的な使命（ネイチャーポジティブ）が表明された。また、同目標の実現に向けた柱の一つとして、自然への投資やネイチャーポジティブ経済の促進が掲げられた。
- ネイチャーポジティブ経済の実現のためには、自然が主流となり、多様な価値観を取り入れ、強化する経済社会への移行が必要。
- このため、G7札幌にて、ネイチャーポジティブ経済に関する知識の共有や情報ネットワークの構築の場として、「G7ネイチャーポジティブ経済アライアンス」を新たに立ち上げ。

活動内容

- ネイチャーポジティブに資する技術・ビジネスモデル等に関する事例共有
 - 情報開示に反映すべき要素や課題に関する各国意見のシェア・発信
- ※アライアンス活動の一部には、G7メンバーの政府のほか、民間企業、研究機関等も参画することを想定

今後の活動

- ネイチャーポジティブに資する技術・ビジネスモデル等に関する情報共有を行う。2023年は経団連と連携して開催する。
- 情報開示に反映すべき事項や課題をとりまとめ、G7外のステークホルダーに提供する。
- 2024年以降は、G7議長国がテーマを決定し、プロジェクトを実施する。

G7ネイチャーポジティブ経済アライアンス

活動内容

- ネイチャーポジティブに資する技術・ビジネスモデル等に関する事例共有
 - 情報開示に反映すべき要素や課題に関する各国意見のシェア・発信
- ※アライアンス活動の一部には、G7メンバーの政府のほか、民間企業、研究機関等も参画することを想定

G7ネイチャーポジティブ経済アライアンス (G7ANPE)

- NPの定義に関する理解の共有

B7(2023)

- 経団連が事務局
- Workshopを主催

連携

Pillar1(2023)

Workshop

- ネイチャーポジティブ経済に資する技術・Bzモデルの事例共有
- 各国から事例の提供
- 日本からは、ビジネス貢献プロジェクト、ビジネスマッチング等から事例紹介

Pillar2(2023)

Workshop

- 生物多様性に関する情報公開の重要な視点についてのまとめ
- G7ANPEとして提言を公開

情報共有

TNFD他
各種ス
テークホ
ルダー

COP16 サイドイベント
COP28 サイドイベント

